

Cure and Care  
communication

第111号

## C&amp;C コミュニケーション

発行所 〒731-5142 広島市佐伯区坪井三丁目818-1  
Tel.082-923-8333(代) <http://www.pia-gr.or.jp/>

医療法人ピーアイエー

ナカムラ病院

介護医療院 びる  
介護老人保健施設 まいえ  
グループホーム つばい

社会福祉法人 双樹会

特別養護老人ホーム

陽光の家

通所介護事業所  
居宅介護支援事業所

新年のごあいさつ

カレンダー展

作品展

(8ページに地域の方の寄稿を掲載)

「介護者へのサポート」  
紙面de認知症カフェ



## 新年のご挨拶



あけましておめでとございます。  
 昨年は初めから終わりまで新型コロナウイルスに明け暮れた年でした。私は三月までJ.A.広島総合病院呼吸器内科で勤務しており、当時は毎日のように新型コロナウイルス感染患者の入院があり、常に満床の状態が続いておりました。まだ日本でワクチンを接種できる環境は整っておらず、治療薬もありませんでした。インフルエンザの治療薬が効果あったとか、リウマチの治療薬が重症化を予防できたなど世界中から報告された最新の論文を頼りに治療を行っている状態でした。現在は日本でも抗体薬の点滴や抗ウイルス薬の内服薬が揃いつつあります。

第二〜三波が収まったと思えば、あつという間にデルタ株が大流行し第四波が到来、広島も緊急事態宣言が出ました。その後、一度落ち着いたものの夏には再流行で第五波が到来、広島では三回目の緊急事態宣言となりました。当院では二〇二一年四月より医療従事者に対するワクチン接種が開始となり、五月から入院患者さま・入居者さま・外来患者さまへと順次拡大することができました。幸いワクチンによる重篤なアレルギー反応など大きな問題もなく、滞りなく対象者への接種を完了いたしました。

ワクチン接種による重症化リスク低減の効果は、その後日本中で新型コロナウイルスが大流行したことにより、皮肉にも証明される結果となりました。しかし、感染予防という観点では、ワクチン接種後のブレイクスルー感染が大きな話題となっており、二〇二一年末より流行の兆しがあるオミクロン（十五番目のギリシャ文字）株に対して、ファイザー社のワクチンは三回接種すると七十五%の感染予防効果があると言われております。当院でも一月から順次希望者に三回目のワクチン接種を行う予定としております。また、ワクチンを打ったから安心というわけではありません。職員は以前より院内でのマスク着用はもちろんのこと、常に手洗い消毒、黙食など感染防止に努めております。さらに、患者さまにご迷惑のかわらないように院内、施設内にウイルスを持ち込まないため、日常生活にも厳しい制限を設けて取り組んできております。長い間、患者さまの面会は制限させていただいておりましたが、二〇二一年末に緩和をいたしました（現在は再び面会禁止となっておりません）。久しぶりにご家族に会われた時の、喜んでおられる表情は生き生きとされ、これが本来あるべき姿なのだと痛感いたしました。今後、新型コロナウイルス流行状況により、面会制限の程度はまた変化すると思いますが、早く以前と同じ生活ができることを切に願っております。

本年もどうぞ、よろしくお願ひ申し上げます。

社会福祉法人 双樹会 理事長  
 ナカムラ病院 内科医師

中村 貴志



# 作品展

昨年はコロナ禍で開催できま  
せんでしたが、今年で十八回目とな  
る作品展を無事に開催することが  
出来ました。今年は規模を縮小し、  
ナカムラ病院、介護医療院ひいろ、  
デイケアにぎや家から個性豊かな  
作品が勢ぞろいしました。

展示されている作品は、ぬり絵  
や習字、貼り絵、折り紙手芸など、  
どれも患者さまが時間をかけて作  
成したものであります。中には、  
患者さま同士でアイデアを出し合  
いながら作ったものもあります。

コロナ禍で外出やご家族との触  
れ合いなどができない中、作品展  
を見に散歩に行き、展示している  
作品を見て喜ぶ姿や、作品を見た  
職員から「すごく素敵な作品でし  
たね」など声を掛けられ嬉しそ  
うにする患者さまの様子を見て、私  
たちも作品展を通じて患者さまの  
生活の質の向上に微力ながら援助

することができたように思います。

十二月に入り、長らくの面会制  
限も緩和されたことで、素敵な作  
品をご家族にも見ていただくこと  
ができ、作品を通じて、面会でき  
なかつた間も患者さまが楽しく過  
ごしていた様子を感じていただけ  
たのではないかと思います。

これからも、さまざまな活動を  
通してみなさまの「今を生きる」  
を援助していきたいです。

リハビリテーション科

有馬 芽久美  
矢野 ちさと



# 元がおのひみつまちたんけん



## 五日市観音西小学校 体験学習訪問

令和三年十月六日(水)、五日市観音西小学校二年生のみなさん二十五名と引率ボランティア五名による、「元がおのひみつまちたんけん」の体験学習訪問がナカムラ病院でおこなわれました。

新型コロナウイルス感染症による感染防止対策として、一度に多くの児童が密にならないよう五グループに分かれた少人数で時間差での対応となりました。

二階のフロア(診察室・薬局・歯科・放射線室)のみ見学して廻り、専門的な説明や医療機器も真剣に見たり聞いたりしていました。また、児童のみなさんが事前に考えてきた質問タイムでは、「ベッドは何台ありますか?」「なぜ、この仕事をしようと思いたか?」等の質問に医師や看護師が答え、それをしっかりと聞き取り、メモしていた姿がとても微笑ましく感じました。

玄関外では車椅子に乗ったり、酸素ボンベや点滴セットに触れる体験もあり、どの場面でも子どもたちのキラキラした瞳と好奇心旺盛な姿に、私たちが元気をもらえた一日でした。

ナカムラ病院

看護部長 撰

敬子

## 令和4年 新春カレンダー展



新春恒例のカレンダー展も今年で21回目の開催となりました。

お馴染みの「笑点」カレンダーに可愛い赤ちゃんパンダ、目の覚めるような美しい女優さん… etc. コロナの逆風にも負けず、40点の個性豊かなカレンダーがギャラリーをぐるりと華やかに彩り、私たちもついつい仕事の手を止め、一枚一枚見入ってしまいます。

とは言えまだ多くの皆様に見ていただくことは叶いません。今年こそはこのカレンダー展だけでなく、多くの作品たちを直接楽しんでいただけるよう、これからも当ギャラリーでは楽しい企画を提供してまいります。どうぞ楽しみにお待ちください。

医療法人ピーアイエー 理事長 中村 友美

# 陽光ふぁみりー

## クリスマスプレゼント

あけましておめでとーうございませう。陽光の家のまわりでも雪がみられるようになりました。利用者様をお迎えに行く時に「今日も寒いですね」と挨拶をすると寒さを実感します。デイサービスではファンヒーター等で暖をとっており、「あったかいね」と利用者様とお話する時は気持ちも一緒に温かくなります。

さて、デイサービスでは毎年十二月に一年の感謝を込めてクリスマスプレゼントをお渡ししています。今年のプレゼントは職員がステシルで作った巾着袋でした。同じ絵柄は一枚もなく、こ



しか手に入らない一点ものです。一生懸命作った巾着袋を利用者に気に入ってもらえて、笑顔になつてもらえれば嬉しいです。

陽光の家 通所介護事業所

網本 忠文



▲職員が作った巾着袋です

## 歯科の扉

### 歯ぎしりについて

皆さんは歯ぎしりをする習癖がありますか？ 専門用語では歯ぎしりの事を「ブラキシズム」と言います。ブラキシズムの原因は、脳の運動野、辺縁系、自律神経系の相互作用によって筋肉が異常に緊張する事で起こります。さらにストレスやアルコール、病気、薬物、性格がブラキシズムの頻度に影響する事がわかっています。歯ぎしりは、歯の破折や摩耗、知覚過敏、頭痛、顎関節痛、関節音等の症状を引き起こします。

一般的にはスプリント療法（マウスピースの装着）を用い、咬み合わせの力を分散させ顎関節を保護します。全ての方に効果があるとは限りませんが、歯ぎしりでお悩みの方は一度歯科医院を受診してみるのも良いでしょう。

歯科医師 山脇 加奈子

## まいえーすすめ!

### クリスマス会



初雪が降った十二月中旬に、「まいえー」でクリスマス会を開催いたしました。

「♪真つ赤なお鼻のトナカイさんが♪」とみんなで歌いながらクリスマス会のスタートです。今回は歌と運動のコラボで手足を動かしながら楽しく踊ります。

サンタクロースが先陣を切って右腕、左腕を順番に天井に突き上げながら、声もだんだん大きくなると同時に、笑顔もひろがっていききました。

コロナ禍で思うようにできなかったレクリエーションを、出来るだけ日常に近づけるように工夫しながら行っています。

まだまだ、マスクを外すことは出来ませんが、この後の「クリスマスケーキ」とミルクコーヒー」は黙食でおいしくいただきました。

介護老人保健施設 まいえ

木原 久美子

十二月十四日、にぎや家では、『クリスマス会』を行いました。十二月といえばクリスマス。クリスマスといえはサンタさんが子供達にプレゼントを配る時。ということで、『プレゼント運び』のゲームをすることになりました。

サイコロを振って、出た目の数だけプレゼントをソリにのせ、それを利用者さまに棒で押してゴールまで運んでもらいました。プレゼントは、大小重さも様々な物を用意していたので、時には「重いねえ。動かんよ。」と笑い合いながら協力する姿が見られました。

デイケアにぎや家  
介護福祉士 北島 康子



# いきいき 行事だより



## いきいき行事ダイジェスト

### 10月

- 秋まつり (B1)
- 秋の大運動会 (にぎや家)
- 玉入れ、誕生日会 (まいえ2)
- おやつレク (いこい・つどい) (陽光の家)
- おやつレク (ほほえみ) (陽光の家)
- おやつレク (ふれあい) (陽光の家)
- 郷土料理 (千葉) (陽光の家)
- 売店 (陽光の家)



### 11月

- 秋のくだもの祭 (にぎや家)
- 映画観賞会 (B6)
- 誕生日会、うちわで運んで (まいえ2)
- 手作りおやつ (つばい)
- 避難訓練 (陽光の家)
- おやつレク (ほほえみ) (陽光の家)
- おやつレク (ふれあい) (陽光の家)
- おやつレク (いこい・つどい) (陽光の家)
- 郷土料理 (兵庫) (陽光の家)
- 売店 (陽光の家)



### 12月

- クリスマス会 (B1、B7、にぎや家、まいえ2、つばい)
- クリスマスと誕生日会 (まいえ1)
- おやつレク (いこい・つどい) (陽光の家)
- 売店・おやつレク (ふれあい) (陽光の家)
- おやつレク (ほほえみ) (陽光の家)
- 売店 (陽光の家)
- 忘年会 (陽光の家)
- 郷土料理 (佐賀) (陽光の家)



## 作品展によせて 【すばらしい折紙作品】

作品展を鑑賞されたご感想を、  
三宅無量寿会元会長 児玉ミチ子  
さまから寄稿いただきました。



受付をすませて広い待合室のそばに行くと、机の上には、色紙を使った作品がずらりと並べてあった。動物、野菜が実物のような。「あー、すごい。」と声が出た。近寄ってよく見ると、作る目的に合わせて数多くの色紙を切つて、折つて組み合わせて作つてある。特に私の目を引き付けた作品は、スイカだ。赤い色紙を小さく切つて三角に折り、実物のスイカが盛られたようにできている。どんな人が作つたのだろうか。と見ると、数人の共同作品だった。「よくもまあこんなにおいしそうなスイカができるものよ。」と感動した。その他にも自然に咲く桜のようにピンクの花びらが

## スタンプ インタビュー

シリーズでお届けしている各部署責任者へのインタビュー  
今回はB2病棟 甲斐看護部主任です。



Q1. 小さい頃はどんな子供でしたか？

A1. 負けず嫌いでした。あとは、自分で何でも決めて物事をすすめていたと思います。進路のことなどもあまり相談なく決めていました。

Q2. 看護師を目指したきっかけを教えてください。

A2. 高校二年生の時に、突然「看護師になつてみようかな。」と思い、今に至ります。

Q3. 仕事にやりがいを感じるののはどのような時ですか？

A3. 自分が実施したケアによって患者さまの苦痛が緩和されたり、笑顔が見られた時と、後輩たちの成長を感じる事ができた時です。

Q4. 仕事をする中で大切にしていることは何ですか？

A4. 患者さまが苦痛なく、少しでも楽しいと思える時間が持てるようにアセスメントすることを心がけています。早目に他の専門職に頼ることも大切にしていきます。

Q5. リフレッシュ方法はありますか？

A5. 推しの動画をみたり、曲を聴いたり、娘と推しについて熱く語り合ふことです。



患者さまが丹精を込めて作った作品を見ていただけるとうれしく思います。とても励みになる感想をありがとうございます。

作業療法士一同

Q6. 今、一番楽しみなことは何ですか？

A6. コロナが落ち着いたら実家がある長野へ帰省すること、とにかくライブに行きたいです。

Q7. 今後の目標や挑戦したいことを教えてください。

A7. このインタビューをきっかけに考えてみたいです。

ありがとうございます。  
これからも頑張ってください。

## 編集後記

あけましておめでとございます。

表紙の写真はナカムラ病院の駐車場から撮つた日の出です。地平線が徐々に明るくなり、太陽が昇ると温かさを感じることが出来ますね。今年も年明け早々に新型コロナウイルス第六波が猛威を振るっています。我慢の日々が何年も続いています。今年こそは新型コロナウイルスという夜が明けてくれればよいと思っています。  
※表紙に写っている車は新車のデイケア送迎車です。

(編集長)